

## 報告事項イ

令和2年度 第2回 鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議（兼鳥取県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会兼鳥取県地域学校協働活動推進委員会）の概要について

令和2年度 第2回 鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議（兼鳥取県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会兼鳥取県地域学校協働活動推進委員会）の概要について、別紙のとおり報告します。

令和3年2月10日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

令和2年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議  
(兼鳥取県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会兼鳥取県  
地域学校協働活動推進委員会)の概要について

令和3年2月10日  
社会教育課

- 1 日 時 令和3年1月27日(水) 午前10時から午後3時まで  
2 場 所 (午前) 鳥取市立湖南学園 こなんホール  
(午後) 鳥取県教育センター2階 大会議室

3 会議の概要

鳥取市立湖南学園学校運営協議会視察

- ◆鳥取県内のすべての公立学校へのコミュニティ・スクール導入と併せてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するにあたり、県内の先進的好事例として鳥取市立湖南学園の学校運営協議会を視察した。  
また、運営協議会終了後、生涯学習分科会委員から運営協議会委員に対し質問形式により意見交換を行った。



意見交換 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について

- ◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進していくにあたり、鳥取市立湖南学園の学校運営協議会の視察結果を下に基に、今後の進め方や効果的推進方策等について、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・学校と地域を繋ぐコーディネーターについて、世代交代を見据えた人材育成が大切である。
- ・地域差はあるが地域学校協働活動を進めるための一つの形として公民館の役割が大切である。
- ・先進事例の実践を発信していくことが、全県における一体的推進につながる。
- ・地域学校協働活動に関わった大人の発見など、生涯学習の視点も必要である。



(今後の進め方)

- ・中部、西部の学校運営協議会等を視察し、意見交換を実施する。
- ・令和3年度中を目途に、意見交換を行った内容を踏まえ、一体的推進に資する資料を作成する。

議事 令和3年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業計画案について

- ◆独立行政法人国立青少年教育振興機構からの受託事業である「地域ぐるみで体験の風をおこそう」運動推進事業の令和3年度事業について、令和2年11月17日に開催した第1回会議における委員からの意見等を踏まえ作成した事業計画案及び企画提案書案について説明し、了承を得た。

[事業計画案のポイント]

- ・なるべく多くの方が体験活動に参加いただける機会を確保するため、低年齢での集団宿泊体験活動の来年度の活動場所として、空山ポニー牧場を新たに加え体験活動を実施する。  
→計画案に対する意見なし

鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会議名簿

(任期:令和2年10月1日～令和4年9月30日)

氏名	所属・職名等	備考
上 杉 未 樹	鳥取県連合青年団事務局長	(欠席)
大 堀 貴 士	特定非営利活動法人ハーモニカレッジ理事長	副会長
青 山 恵 子	日本海テレビジョン放送株式会社営業局局次長兼事業部長	(欠席)
小 椋 博 幸	倉吉市教育委員会教育長	
川 口 有美子	公立鳥取環境大学環境学部准教授	会長
清 水 まさ志	鳥取大学地域価値創造研究教育機構准教授	
田 中 昭 子	鳥取県連合婦人会	
大 西 映 子	湯梨浜町立はわいこども園長	(欠席)
矢 田 佳 代	倉吉市立関金小学校長	
高 尾 裕 子	鳥取県PTA協議会中部ブロック代表理事	(欠席)
福 田 京 子	日本ボーイスカウト鳥取連盟理事	
砂 流 誠 吾	日野町教育委員会教育課長	
山 根 一 記	鳥取市賀露地区公民館館長	
米 田 述 史	公益社団法人鳥取県老人クラブ連合会理事	(欠席)